

# 壬生北小からこんにちは



「心豊かにたくましく生きる子どもを  
育てる学校づくり」



No. 7  
平成29年11月30日  
壬生町立壬生北小学校長  
渡邊 晴江

## ～秋から冬へ～

校庭のユリノキの木が陽光に当たって金色に輝いていた葉を落とし、いよいよ冬支度を始めました。

本校では、朝の読み聞かせ、社会科や総合的な学習の時間等に出前授業の講師の先生やたくさんのボランティアさんの力を借りて体験的活動が盛んです。自然界の美りに負けないよう、児童が豊かな美りの時を過ごせるよういろいろ工夫して取り組んでいきたいと思ひます。

## 行事を通して大きく成長しました

二学期には、保護者の皆さんをはじめ地域の多くの方の御協力をいただき、たくさんの学校行事が実施されました。子どもたちは、行事を通して大きく成長しました。まさに「子どもは子どもの中で育つ」「子どもは体験の中で育つ」「子どもは地域の中で育つ」ということが、実践された学期でした。保護者の皆様、地域の皆様、御協力ありがとうございました。



【1・2年社会見学 宇都宮動物園】



【3年社会見学 町巡り】



【4年社会見学 県庁】



【5年社会見学 日光東照宮】



【6年社会見学 国会議事堂】

## ◇学校図書の新し出し状況です。(4～10月)

各学年の図書の新し出し冊数です。

1年生	1352冊	一人あたり9.7冊/月
2年生	716冊	一人あたり6.8冊/月
3年生	448冊	一人あたり7.1冊/月
4年生	960冊	一人あたり9.1冊/月
5年生	1059冊	一人あたり9.5冊/月
6年生	1001冊	一人あたり8.6冊/月
全体	5536冊	一人あたり8.6冊/月

昨年度の同時期の一人当たりの月冊数は、8.8冊でした。学校全体としての読書量が減っている傾向です。読書週間には、図書委員会の子どもたちが中心になり楽しい企画をたくさん実施してくれました。読書は、思考力・判断力・表現力・コミュニケーション力を育み、個人が自立し、他者との関わりを築きながら豊かな人生を生きる基盤を形成するものです。御家庭でも、読み聞かせ・親子読書・リレー読書などぜひ、一緒に楽しんでください。



【読書集会】



【読書郵便】



【先生方による読み聞かせ】

## 読み聞かせボランティア表彰おめでとうございます！

先日、壬生北小の「読み聞かせボランティア」のみなさんが、長年の本校での読み聞かせを通しての読書活動推進の貢献をたたえ、栃木県教育委員会から表彰されました。会を代表して、大橋ゆり様が栃木県公館で行われた表彰式に出席していただきました。



これからも、どうぞよろしくお願いいたします。

**11月27日～12月4日は人権週間**です。人権集会では、わんぱく隊ごとに、友達の良いところを書いて人権ツリーを作りました。一人一人のよさに気づき、それを素直に認めてあげられる気持ちが育っていることをとてもうれしく思いました。集会の中で子どもたちに、こんなお話をしました。

校長先生は「ことばの力」というお話をします。

人間が話す言葉は、使い方によって聞く人を幸せな気持ちにしたり、悲しませたりします。ほめられる言葉をかけられるとうれしい気持ちになるし、悪口を言われると悲しい気持ちになります。ことばは人間の心を動かす力を持っているのです。

今から20年以上前、ある小学校の1年生が教室で2つの植木鉢でアサガオを育てることにしました。毎日、一つの鉢のアサガオにはほめ言葉や励ましの言葉をかけ、もう一つのアサガオにはかわいそうですが、悪口や傷つける言葉をかけました。1か月後、ほめられ続けたアサガオはすくすくと伸び、葉も青々としてきました。悪口を言われ続けたアサガオは双葉からなかなか本葉が出てきません。そして、2か月後二つのアサガオはどうなったでしょう。ほめられ続けたアサガオは、毎日たくさんの花を咲かせ続けました。そして悪口を言われ続けたアサガオはどうなったと思いますか？なんと枯れてしまいました。つまり、言葉の力によってアサガオの命が奪われてしまったのです。

さて、みなさんこのことから、言葉がどれだけすごい力を持っているか分かったでしょう。みんなが何気なく言う「ばか、死ぬ、うざい、キモイ、消えろ」などは、一瞬で嫌な気持ちになるよくない言葉です。「おはよう、ありがとう、がんばったね、一緒にやろう、また明日ね」は、一瞬で元気をもらえる温かい言葉です。北小の子どもたちには、心を温かくする言葉をたくさん使ってほしいと思います。

ここで、詩を一つ紹介します。北原白秋という人の「ひとつのことば」という詩です。

学校では、**生命を尊重する心、他人を思いやる心、正義感や公正さを重んじる心、個性を認め合う心等の豊かな人間性の育成、人権の大切さに気づき、差別のない人間関係をつくろうとする態度の育成に努めています。**

『ひとつのことば』 北原白秋

ひとつのことばで けんかして

ひとつのことばで なかなおり

ひとつのことばで 頭が下がり

ひとつのことばで 心が痛む

ひとつのことばで 楽しく笑い

ひとつのことばで 泣かされる

ひとつのことばは それぞれに

ひとつの心を 持っている

きれいなことばは きれいな心

やさしいことばは やさしい心

ひとつのことばを 大切に

ひとつのことばを 美しく





～安全支援ボランティアの皆様へ感謝～ 毎日お世話になっています。

登下校時に、子どもたちの安全を見守ってくれている壬生北小学校安全ボランティアの皆様が栃木県警より表彰されました。代表として、高木 利様に表彰式に出席していただきました。子どもたちが安全に登下校できるのも、こうした地域の方々のおかげです。心より感謝申し上げます。今後も、一人でも多くの目で児童を見守るという思いを大切にしていきたいと思ひます。

